



【2012-2013年度RIテーマ】

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋

第1011回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング それでこそロータリー 小さい秋見つけた
- ソングリーダー 中山 恵喜君

■ **会長報告** 村松 章隆君

皆さん、こんにちわ！ここ数日涼しくなり、秋の気配を感じる季節になりました。季節の変わり目は、体調崩す人が多いので気をつけましょう。

まず、報告事項があります。過日、話をしましたが、二人の入会申し込みがあり、規定の期日までに、異議申し立てがありませんでしたので、入会を認め、10月の第一例会で入会式を行います。引き続き会員拡大に協力をお願いします。

次に、先週は、藤枝ロータリークラブの小泉会員の計らいで、また中部電力様の招待で、浜岡原発に行ってきました。一般の方は勿論、中々入れない現場まで、行き、説明を受けて参りました。安全対策には、福島教訓によりいろいろなさされていまして。次は、碧南市の火力発電所を是非みてくださいと言っておりました。

本日は、会員卓話です。池谷会員の興味深いお話が聞けるとおもいます。後程よろしくお願ひします。

以上、会長報告並びに、挨拶とさせていただきます

■ **幹事報告** 内山 淑夫君

- 第2620地区より
2011～2012年度地区会計決算報告書が届いております。
- 第2620地区より
静岡第5分区親睦ゴルフコンペのご案内が届いております。
- 第2620地区より
浜名湖RC HP & メールアドレスの変更のお知らせが届いております。
- 第2620地区より
青年交換マンスリーレポートが届いております。

- 公益財団法人 麻薬・覚醒剤乱用防止センターより
ニューズレターKNOW 87号が届いております。

■ **出席報告** 望月 誠君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
29 / 41 70.73%	26 / 41 63.41%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 伊藤彰君 漆畑君 小池君 鈴木徹君
 早川君 森竹君 渡邊博君 川口君
 殿村君 富澤君 藪崎君 山田君
- (2)メイクアップ者
 山田 壽久君(静岡北) 渡邊 博文君(静岡北)
 鈴木 徹君(藤枝)

■ **スマイルBOX** 望月 誠君

- 結婚記念日プレゼント、ありがとうございました。 渡辺 哲朗君
- 私の娘ではありますが、AO入試で歯学部に合格しました。私の跡を継いでくれるみたいです。まだまだ仕事(診療)にはげみます。

望月 誠君
 スマイル累計額 242,732円

■ **会員卓話**

池谷 和正君



皆さんこんにちは。

今日は少しテーマとはズレますが、私というより「焼津の山あり・谷あり」をテーマにしてお話をさせて頂きたいと思います。

3. 1 1以降、日本の沿岸地域では、泣きっぱなしの状況が続いています。

そんな中、8月末に内閣府発表の第2次東海・南海トラフについての発表がありました。

県の第4次防災計画を待ち望む市民にとっては、少しだけではありますが、前進した気持ちになったのではないのでしょうか。

焼津市は今、「人口流出」という今までにない問題に直面しています。

実際にこの1年で約1000人の人口が減っています。人口14万人に対して1000人ぐらいと思うのですが、これから先1000人の人口を増やすことは容易ではないと考え、今、人口流出に歯止めをかけなければ…と危惧しています。

今日は、第2次報告書の一部をお持ちいたしまして、これだけは知っておいて頂きたいと思うことを

いくつかお話させて頂きたいと思います。

焼津市だけではなく駿河湾全体を見てみますと、第1次から第2次で大きく変わった点はありませんが、50mメッシュから10mメッシュへと、より細かく詳細なデータが公表されました。では、この辺りの海岸はどうでしょう。焼津は最大10.1mの津波から11.0mとなっています。平均津波高は約6mとなっており、前回よりも細かく危険度を知ることが出来ています。

今回なぜ皆さんにこの話をしたのかという点が今日のポイントです。

現状の危険性を知ることが大切です。危険は誰もが嫌ですよ。

「藤枝だから…」ではなく、藤枝の市民だからこそ隣町・焼津の今を知って頂きたい。頭では危険だと理解していても実際はどうでしょうか。「どこがどのくらい」「こうなった場合、あそこはどう危ないのか」など具体的に、この志太の地域に住む人達ができるだけ多くの情報を共有し、いざと言う時に備え万全な体制を築いていけたらと思います。

今回の被害想定は3. 1 1で被災された東北の皆さん、特に亡くなった多くの尊い命のおかげで出来た報告書だと感じています。

我々が一日一日を大切に今を生き明日を創出するためには、一行政区ではなく、やはり志太というこの地域全体で取り組まなければなりません。

どうか皆さん、今以上に視線を少しだけ高く・そして広く、前を見て頂きたいと思います。私はこれからもその時々で情報を提供し続けていきます。今後とも宜しくお願い致します。



幻の会員が出席しました

■ 今週の一言

植田 裕明君

『私の父・母』

父は大正15年(昭和元年)生まれ、貧しい天理教教会の末っ子に生まれました。若い時分には、生計を立てるため、家業は母に任せ、給与所得者として働き、私を含めた4人の子どもを育てました。青春のほとんどを太平洋戦争時代に過ごしましたので、この年代の人には、ごく平均的なことかと思いますが、正直、無学・無教養ではありますが、実直だけが取り柄の人間です。家業とそうした人間性を買われ、地元の人たちから請われ、長年、保護司を務めました。あと少しで受勲という荣誉に浴せるまでに至りましたが、保護司仲間や家族からの強い薦めにも応ぜず、後進に譲っております。親父らしい選択だと思っております。父母とともに、齢(よわい)80を超えておりますが、特に介護も要しませんし、特に重篤な病気もありません。

最近、厚生労働省が公表した「健康寿命」(介護や寝たきりの病気でない長寿の指数)、静岡県は女性第1位、男性第2位だそうです。この分野でも多少は貢献しているように思います。

(担当/池ヶ谷君)